

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成31年度採択）

中間評価結果（公表用／ソフト分野）

番号	研究名	研究代表者	評価
31-1	ETC2.0 データの活用と評価を通じた次世代 ETC の基本設計提案	東北大学 教授 井料 隆雅	A
<p><研究の概要></p> <p>本研究では、次世代 ETC システムの基本設計の提案を、ETC2.0 データを活用したケーススタディによる要件抽出、新観測技術の実道実験、匿名化や外部データ連携技術等の開発を基に、要件を満たすに必要かつ十分で、現行 ETC2.0 と連続性がある形で行うことを目指す。</p> <p><中間評価結果></p> <p>多彩な取り組みを実施しており、現行 ETC システムの課題解決に見通しが立ち、次世代 ETC の姿が明確になってきていることから、現行のとおり推進することが妥当であると評価する。</p> <p><参考意見></p> <ul style="list-style-type: none">・次世代 ETC システムの提案について、スマホやドラレコなどの外部データの使用頻度や、具体的な連携方法についても検討いただき、研究成果をどのように次世代 ETC の基本設計提案に反映するのかを、今後予定している研究内容と合わせて明確にしていきたい。・このシステムが社会実装されるためのビジネスモデルへの橋渡しが示唆されるまとめになることを期待したい。			

※本中間評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第 42 回新道路技術会議において審議したものである。